

72 水産基盤整備事業（公共）

【101,526(119,860)百万円】

対策のポイント

- 水産資源の回復と豊かな生態系の維持・回復を図るため、水産環境整備を推進します。
- 産地の生産・流通機能、販売力の向上を図るため、拠点漁港の衛生管理対策を推進します。
- 防災・減災対策、既存ストックの活用等による安全で活力のある漁村づくりを推進します。

<背景/課題>

- ・我が国周辺水域では水産資源の多くが低位となっており、また、藻場・干潟の減少や磯焼けの進行等により、水産動植物の生育環境が悪化しています。
- ・安全・安心な水産物の安定供給のためには、生産・流通機能の強化が必要となっています。
- ・漁村は集落排水施設等の生活環境施設の整備が立ち後れています。

政策目標

- 漁場整備により水産物を概ね14.5万トン増産
- 高度衛生管理される水産物の出荷割合を23%から概ね50%に向上
- 漁業集落排水処理普及率を35%から概ね60%に向上

<内容>

1. 水産基盤ストックマネジメント事業 3,070(1,220)百万円
既存ストックの有効活用と効率的・効果的な施設の更新を推進します。
2. フロンティア漁場整備事業 1,300(1,000)百万円
沖合資源の増大のため、国の直轄漁場整備として、日本海西部においてアカガレイ・ズワイガニを対象とした事業を推進するとともに、新たに、マアジ・マサバ・マイワシを対象とした事業を実施します。
3. 豊かな海を育む総合対策事業 7,591(8,480)百万円の内数
本事業のうち主要事業である広域漁場の要求額
水産資源の回復・増大と豊かな生態系の維持・回復が図られるよう、水産生物の生活史に対応した広域的な水産環境整備を推進します。
4. 水産物流通機能高度化対策事業 29,028(32,790)百万円の内数
本事業のうち主要事業である広域漁港の要求額
産地の生産・流通機能の向上と販売力の強化を図るため、拠点漁港における高度衛生管理型荷捌き所、岸壁等の整備を推進します。
5. 漁村再生交付金 5,540(7,230)百万円
都市との交流活動などの地域の特性を活かした取組と連携し、生産基盤と生活環境整備を一体的に実施します。
6. 漁業集落環境整備事業 2,700(4,140)百万円
漁業集落排水施設の有効活用と効率的・効果的な施設の更新を推進します。

[お問い合わせ先：水産庁計画課(03-3501-8491(直))]

